

清原地域振興協議会設立30周年

「オール清原」の力で、未来へのまちづくりにダッシュ！！



清原地域振興協議会

会長 菅沼 栄一

清原地区のホームページ開設にあたって

清原地域振興協議会（以下「清振協」）は今年度設立30周年を迎えますが、多くの諸先輩方、関係機関又各自治会の皆様方のご支援・ご協力を賜り、このたび、清原のまちづくりのPRや活性化に向け、地区のホームページの運用を開始する運びとなりました。

関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、多くの皆様に活用されるホームページとなるようお願いいたします。

清振協は、「84とちぎ博」の開催や県立高校の建設、宇都宮テクノポリスの重点開発・大学誘致地区など大きな地区の課題を抱える中、地域の発展と住みよいまちづくりを推進するため、自治会連合会をはじめ、各団体が一致協力して取り組んでいく母体の組織として昭和59年に発足いたしました。

その後、昭和62年からは、清原工業団地総合管理協会も構成団体に加わり、文字通り地域一体の組織として今日まで多くの課題に取り組み、地域の振興に力を尽くしてまいりました。

清原地区は豊かな自然に恵まれ、我が国を代表する清原工業団地を中心に各種教育機関や体育施設が設置されるなど、産・学・住・農・遊、そして商・交を含めたバランスのとれた地区として発展を遂げています。

今後とも清原地区の発展を継続させるためには、住居・企業・学校・各種団体など連帯の強化、すなわち「人」の絆を深めながら地域の自然、スポーツ施設、農産物・工業製品などの「もの」を積極的に活用・PRを行い、地域資源の価値を高める必要があると考えられます。

清振協では、平成24年3月に「清原地域ビジョン」を策定し、10年後のあるべき姿を想定しながら、「地区防災マニュアル」の作成や、「清原地区新交通システム整備推進協議会」の設立など昨年度実施してまいりました。

また、宇都宮マラソン大会での7,000食に及ぶ「船頭鍋」のふるまいを始め、「とちぎ熱気球選手権」「Jプロツアー宇都宮クリテリウム」での協力支援など、清原地区のPR活動にも努めているところです。

この清原地区のホームページの運用開始に伴い、地区内外の皆様にこうした取り組みを直接お伝えできるようになります。また、清原地区の魅力を地区外の人に知っていただくための強力な発信源になってまいりたいとも考えております。

ぜひ、皆さまにこのホームページを積極的に活用していただき、今後とも「オール清原」体制で「すみよいまち清原」「活気ある清原」を目指して頑張ってまいりますので、より一層のご支援をお願いいたします。